



吉田地区 住民自治協議会だより

18号

キャッチフレーズ 「人の和と 地域の輪もて 我が吉田」

発行責任者 島田 光夫

編集 吉田地区住民自治協議会だより編集委員会

事務局住所 長野市吉田3-22-41 ノルテナがの3F

TEL 026-263-6224

FAX 026-266-0371

鍛えよう体 育てよう仲間 広げよう友達の輪



第3回
風船バレーボールレク

6月1日(日) 運動公園サブ体育館
小学生低学年を対象としているので、厳しいルールにこだわらずに、楽しむ事を重点としました。昨年よりも参加チームが多かったです。試合時間も長くなりましたが、子供達と育成会サポーターの方々と一緒に楽しんでいたのが、印象的でした。

風船バレーボールは、風に影響されやすい為、窓が充分に開けられず熱中症等の心配もされましたが、育成会役員の方々に協力をいただき無事に終える事ができました。

育成会委員会

優勝

男子 桐原

女子 東町



第5回
ドッジボール大会

6月14日(土) 吉田小学校体育館
総当たり戦となった今大会は、5回目と言う事もあり、難しいルールも子供達の中に浸透しているのがわかりました。6年生が、まだルールのわからない下級生に教えている姿も見られ、試合もドッジボール協会公認の審判員の基に行われているので、とてもいい経験になると思います。

吉田小学校体育館は、この日を持って取り壊されます。最後の体育館にふさわしい白熱した大会になりました。

たつみ祭り 子ども広場

～7月27日(日)たつみ祭り「昼の部」を開催しました。～
暑い中でしたが、多くの子供達が参加し、賑わいました。



消しゴム釣り



バルーンアート



ビンゴゲーム

福祉委員会



～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える 地域のチカラ～

「第64回吉田地区社会を明るくする運動住民集会」

去る7月14日吉田公民館大教室において、来賓各位、多くの関係者の皆さんが教室いっぱいになる中で開催されました。最初に広報映画「Walk Together」（父親から暴力を受け続けていた少年が、暴行事件をおこし少年院に收容されたが、その後保護司や介護施設のボランティアで出会った人たちを通じて、立ち直りをする一人の少年の物語）鑑賞した。

その後、長野少年鑑別所 統括専門官の川俣五三さんが「処遇現場から見た少年非行」と題しご講演をいただきました。

少年が犯罪や非行に陥らないよう、また不幸にして犯罪や非行を犯してしまった彼らの立ち直りを地域で支え、犯罪のない明るい社会を築こうとする運動の趣旨に沿った大変有意義な集会となりました。少年が非行や犯罪を犯す環境は時代により内容は変わってきているようですが、その要因を家庭の問題、教育の問題などとするだけでは解決は難しそうです。罪を犯してしまった少年が立ち直ろうと頑張っている姿を見て、さらには被害者の感情など見ますとやはり犯罪のない明るい社会の構築に我々一人ひとりが無関心であってはいけないと再確認いたしました。

福祉推進員研修会

認知症サポーター養成講座

認知症を学び 地域で支えよう

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったりして、脳の司令塔の働きに不都合が生じ、さまざまな障がいが起こり、生活する上で支障が、およそ6カ月以上継続している状態を指します。

認知症は身近でひと事ではありません。認知症の人が記憶障害や認知障害からの不安に陥ったり、周りの人との関係が損なわれることも見受けられます。また、介護についても大きな問題となっています。

・・・ たとえ認知症になっても「住み慣れた地域で暮らしたい」「その人らしく生きたい」・・・

地域包括支援センター吉田の指導により、認知症について症状や予防についての考え方、接する時の心構えや支援、介護をしている家族について寸劇を交え学びました。正しい知識をもつことで、「認知症を理解し、認知症の人や家族を見守る、安心して暮らせるまちを」みんなで作っていくことを目指しています。（参加者には、認知症サポーターとしての証として、オレンジリングをお渡ししました。認知症サポーターは「なにか」特別なことをする人ではなく、認知症の人やその家族の「応援者」です。）



福祉推進員とは

地域福祉活動の担い手として活動しています。吉田地区には約200名の皆さんが、お茶のみサロンやふれあい会食会地域での見守り等各地域福祉会の事業計画に基づいて活動しています。住民自治協議会では、サロン事業で活用できる講座や推進員の皆さんのリフレッシュを兼ねた研修会を行っています。



～ 楽しい地域福祉会サロンにお出かけ下さい ～



横町 (包括支援センターの役割と特殊詐欺について)



広町 (ハンドベルで楽しく)



上町 (特殊詐欺に気をつけて)



▼上町 (夏休みの子どもとマジックショー)▲



保健委員会

健康講座

地域のみなさんが健康的な日常生活をおくれるように、健康意識を高め、広める活動を吉田保健センターに協力していただき行っています。6月より健康講座を開催しています。どなたでも参加いただけますので、一緒に健康づくり、仲間づくりをいたしましょう。

運動講習会(6月13日・7月17日)

～まず歩けるからだを楽しくつくろう～

健康運動指導士の清水由佳先生のご指導で約40名の参加者の皆さんといい汗をかきました。

「腰もひざも痛くてね…」との声に、「できる運動は必ずありますよ!」と励まされました。



ふくらはぎやひざを片足ずつもみ、全身の血液循環がよくなった。



ボールの色グループに分かれての体操では、お互いに笑顔で仲良くなった。



「365歩のマーチ」の歌にあわせて元気にワンツー・ワンツー♪ 楽しくできた。

頑張った自分に「ありがとう」 一緒に過ごした皆さんに「ありがとう」 忘れずに自分のペースで毎日少しずつ続けていきましょう。

公民館委員会

吉田町成人野球・ソフトバレーボール大会
すがすがしい汗かきました！

6月1日(日)、

野球は、11チームが参加して、熱戦を繰り広げました。途中、豪雨で試合がノーゲームの年もありましたが、今回は、最高の天候に恵まれた中で出来きて、皆さん大変満足されました。

ソフトバレーボールは、13チームが参加して、例年同様に接戦の試合が展開されました。

決勝トーナメントへ進めなかったチームも力は同格でした。試合では選手と応援の皆さんが一体の声援が響き渡る白熱した試合が展開されて、会場が盛り上がりました。こちらも満足の1日でした。

★成人野球試合結果

優勝 広町Bチーム

準優勝 東町Aチーム

第3位 中越Aチーム

第3位 押鐘チーム

★ソフトバレーボール試合結果

優勝 中越Aチーム

準優勝 小町Aチーム

第3位 広町チーム

第3位 中越Bチーム



表彰された皆さん



晴れ晴れした選手の皆さん

吉田ふるさと夏まつり
第39回吉田びんずる
第7回何丸踊り 今年も盛大！

7月26日(土) 夕刻6時より、「みて楽しく、踊って楽しく」のスローガンのもと、今年も、参加連地区・企業 19連、中学生22連の41連、大人2079名、子ども1641名の合計2720名の大勢の皆さんが参加して、2時間30分大盛りで行われました。

昨年、「何丸連」と称して、連の内側を1列で踊ることを始め、今年は、その「何丸連」の法被揃いのユニホームを揃え、36名の皆さんが軽快な踊りで、踊りを更に盛り上げました。

今年も、天候に恵まれ、やや暑過ぎる心配もありましたが、無風の絶好のコンディションの中、小学生、中学生、大人の気持ちを合わせて踊り、元気な掛け声が響き渡っていました。

今、人が大勢集まって行う行事がなくなっている中で、吉田町が「吉田ふるさと夏まつり」を継続していることは、ふるさとの素晴らしさ、良さを継承する大切なものと思っております。



楽しく踊る何丸連の皆さん



元気ハツラツ踊る中学生の皆さん

環境美化部会

美しい 吉田町のために

環境美化部会は、健康で住みよい生活を営むため、家庭はもとより地区内の河川・側溝および公共の場所などの清掃美化と生活環境の浄化推進を図ることを目標として活動しています。

ごみのない美しい環境をつくるために、ごみ・廃プラ・資源の分別指導、不法投棄防止などのごみ問題対策、また環境美化対策としてゴミゼロ運動や花いっぱい運動などの推進、チラシや回覧による啓発活動を年間事業として発展しているところです。

地域の皆様には平素から環境美化につきましても関心をもっていただいておりますが、「みんなでつくるごみのない美しいまち」づくりのために、さらなるご理解とご協力をお願いいたします。



区長部会

長野少年鑑別所 視察研修
西堀区長 返町 洋三

七月の「社会を明るくする運動」強化月間に先駆け、区長部会では六月二十日、三輪五丁目の長野少年鑑別所を視察研修しました。

少年鑑別所は戦後まもなくでき当初は善光寺にあり、その後現在の三輪に移転しました。

施設内は一人部屋と二人部屋があり、二十名が収容可能です。また、図書室（卓球可能）や面接室、小規模であるが屋外運動場もあります。県内には、ここ一か所のため遠くは飯田からの少年も…。

少年鑑別所は更生施設ではないため、非行を犯した少年が、家庭裁判所から送致され、約一か月間生活をします。その間に過去を絵に描



【視察を終えて】



【所長さんからお話をお聞きました】

いたり、毎日記を書く、自分を振り返るなど、今までの生活環境を知る所で後家庭裁判所にて審判

が下されます。

この施設に入ったのは初めてで、緊張感もって門をでました。

非行が生まれるのは地域社会です。更生を促すのもこの地域社会です。非行をした人たちが立ち直りの一つの要素として地域社会があるわけです。吉田地区で何ができるのか考える必要があると思います。

栄村より

感謝状をいただきました。



平成23年県北部地震の被災者支援に対し、栄村より感謝状をいただきました。(H26.6.11)

防犯・防災委員会

「夏の地域安全運動」

吉田ふるさと夏まつりの警備をスタートに「夏の地域安全運動」を実施いたしました。

8月1日～31日の1ヶ月間に立て看板の掲出、各町の夜間パトロールに加え、夏休み期間の学校等公共施設の一斉パトロール、特殊詐欺被害防止の広報活動として年金支給日に合わせて吉田地区内3か所の金融機関出入り口でのチラシの配布を行いました。

今後も月1回の青パトによる啓発活動を軸に切れ目のない防犯活動を行ってまいります。



吉田びんずる・何丸踊り 警備



特殊詐欺被害防止啓発



吉田支所より

支所発地域力向上支援金事業の
補助対象事業が決まりました！

吉田支所では、地域の課題解決に向けて活動している団体に対し、その活動を支援するために支所発地域力向上支援金事業の対象となる事業を6月2日から6月30日まで募集しました。その結果、11団体から14事業の応募がありました。ご応募いただきありがとうございました。

支所発地域力向上支援金事業選考委員会を7月3日に開催し、次の4事業に支援金を交付することを決定しました。

団体名	事業名	事業の概要
いただきますの会	ひとりできる！ 子ども料理教室	子ども自身が将来にわたって正しい食生活を送れるように支援するため、学校の長期休みや土日を利用して、吉田地区の小中学生を対象に料理教室（簡単な調理実習と食育の話）を開催する。
吉田小学校応援団	～水彩で描く～ ふるさと吉田の魅力再発見	吉田地区の名所旧跡等を描いた水彩画をはがき大の紙に印刷して吉田小学校の児童、地域住民に配布し、絵葉書として吉田地区の魅力を地域内外に伝える。
北長野地区ユニバーサルデザイン（UD）研究会	北長野地区のユニバーサルデザインのまちづくりの作成	高齢者や障がい者はもとより、誰もが安心して暮らせる、安全な優しい街を目指して、北長野駅・北長野駅周辺をユニバーサルデザインの街にするため、まず、地域住民向けのユニバーサルデザインに関する勉強会を開催する。
上町うたう会	心に響く歌を求めて	毎月2回、童謡、唱歌などを歌う会を開催しているが、活動の幅を広げるため、電子ピアノと楽譜つきの歌集を購入する。

各代表のみなさんから、こんな声が届いています。

いただきますの会
代表 穂苅 則子

食は、体を作るだけでなく、やる気、集中力、元気の源です。夏休みに児童センターの2、3年生対象のお料理を3回行いました。以降吉田地区の育成会と協力して行うことも予定しています。希望する育成会さん募集中です。ボランティアの方も大歓迎です。



吉田小学校応援団

代表 村井善晃 (H26年度吉田小学校PTA有志)

吉田地域の未来を担う子どもたちに、吉田地域に住むことに夢と希望と愛着が持てるように、～水彩で描く～ふるさと吉田の魅力再発見事業で制作した絵葉書を配布し、吉田地区に対する地域の愛の醸成を図ります。



北長野地区ユニバーサルデザイン(UD)研究会

代表 返町 洋三

あの坂はきついなあ、あそこにエレベーターが欲しいなあ、この青信号の時間は短いなあ、その歩道を広くして欲しいなあ、横断歩道にエスコートゾーンが欲しいなあ、など日頃の生活での要望を出しあい、誰にでも優しいまちづくりを考えよう。



上町うたう会
代表 森本俊子

毎月2回、各地区からの参加者男女により、童謡、唱歌、抒情歌から歌謡曲まで幅広いレパートリーを取り上げて、歌い、語らい、楽しんでいきます。参加者の年齢幅も50歳代から80歳代までと広く、そのおかげで、話題も広がります。明るく心に響く歌の交流は、地域の活性化と、高齢者、独居者が外に出るきっかけとなり、他地区からの参加者も増えています。これから更に活動の幅を広げるために、現在は会員個人の物を借用している電子ピアノと楽譜付きの歌集を購入したく、補助事業に申請いたしました。大切に歌い繋いで参ります。



小学校低学年児童の子育てやしつけに関心のある方、子ども相手の仕事に挑戦してみませんか。

吉田児童センターの指導員を募集します！

募集要項

1. 勤務時間 月～金曜日：13:00～18:00（1週間に数回18:30まで） 土曜日：8:30～13:30
2. 勤務内容 吉田地区内のセンターを利用する小学校児童（1～3年生）の放課後や学校休日の生活（遊び中心）管理
3. 雇用条件 報酬：月払い（約8万円） 保険：雇用保険加入
4. 資格等 吉田地区在住の方、または当センターへ通勤可能な方
①年齢35才～50才位までの方 ②複数年勤務できる方
男女不問 保育士等の資格があればなお可
5. 勤務開始 採用決定次第
6. 募集人員 1名
7. 応募 写真付き履歴書（市販のもので可）を直接、または郵送で吉田地区住民自治協議会事務局まで提出してください。
8. 応募期限 平成26年度中
9. 選考方法 書類審査、面接（日程については後日連絡します。）
10. 書類提出先 吉田地区住民自治協議会事務局（平日9時～17時）
〒381-0043 長野市吉田3丁目22-41（ノルテながの3階） TEL 263-6224
11. お問い合わせ **吉田児童センター（平日午後のみ） TEL 263-7278**



季節を彩る作品を募集！！

地域のみなさまの作品、アイデアをお待ちしています。

吉田地区住民自治協議会
263-6224



★こいのぼり

【児童センターのみなさん】



★七夕【児童センターのみなさん】



★七夕

【吉田デイサービスのみなさん】

編集後記

今年は異常気象による、大きな自然災害が各地で発生しています。幸い吉田地区での被災の情報はありません。

これからは、台風の季節となります。災害のないことを願います。ニュース、周りの方達等の情報に細心の注意をしましょう。
「編集委員一同」